

短期大学の学生と「チームオレンジ」の活動を始めます

市では、認知症の人やそのご家族の声を聴いたうえで行う地域づくりの取り組み「認知症サポーター活動促進事業」(チームオレンジ)を展開しています。今回、市内3地区目として北区内山下・深砥地区にて「チームこもれび」が活動を開始します。

1 日時

令和5年11月11日(土)13時～14時

2 場所

川崎医療短期大学 302講義室(北区中山下二丁目)

3 内容

地域住民(認知症サポーター)、医療系短期大学の学生や教職員、医療従事者と認知症当事者やその家族が参加します。ボランティア活動を実施する短期大学「ハピネスリボン同好会」の活動において、参加者が行いたい内容を盛り込んだ活動を行います。

当日は、短期大学ハピネスリボン同好会の学生が中心となり、「自分の経験をみんなに伝えていきたい」という認知症の人の希望を実現する活動を行います。活動詳細は、別添の活動概要をご覧ください。

※「認知症サポーター活動促進事業」(チームオレンジ)

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続ける上で、ソフト・ハード面のバリアを減らしていくため、地域住民、企業・団体、医療福祉関係者等の連携と協力のもと、認知症当事者がどう暮らしていきたいのかの声を聴いた地域づくりを進めていくことです。

4 その他

取材を希望の社は11月10日までに高齢者福祉課までご連絡ください。

【問い合わせ先】

岡山市 高齢者福祉課 岡本・檀上 直通086-803-1024 内線5957・5956

北区内山下・深柢地区チームオレンジ「チームこもれび」活動概要

【日 時】 令和5年11月11日（土）13時～14時

【場 所】 川崎医療短期大学302号教室
北区中山下二丁目1番70号

【主 催】 岡山市ふれあい公社地域包括支援課、岡山市高齢者福祉課

【予定参加者】	認知症の当事者（家族）	1人（5人）
	川崎医療短期大学学生	12人
	川崎医療短期大学教員	5人
	川崎医科大学高齢者医療センター	3人
	地 域 住 民	6人
	地域包括支援課職員ほか従事者	9人
	合 計	41人

【目 的】 認知症の人やそのご家族の声を聴いたうえで行う地域づくりの取り組み（チームオレンジ）として、認知症の人の社会参加や、認知症の人の「希望」を実現し、認知症になっても安心して生活できる地域を目指します。

【内 容】 今回は参加者が認知症当事者を囲み、認知症当事者の話を傾聴します。また適宜当事者への質問を交える等、傾聴だけでなく当事者との交流も行います。

12:30～ 参加者集合、会場準備

13:00 開始、参加者の自己紹介

13:10～ 認知症当事者の話を傾聴、適宜質疑可
(テーマ：認知症当事者の健康について)

13:25 休憩

13:35～ 認知症当事者の話を傾聴、適宜質疑可
(テーマ：これまで旅行した国々について)

13:50 参加者全員で「第九」の合唱

13:55 記念撮影

14:00～ 「チームこもれび」終了、片付け

※認知症当事者が話す内容について事前にテーマを設定、準備をしていますが、伝えたいテーマを変更する場合があります。